

第五中学校は、第一小学校と第四小学校とともに、小中一貫教育を合同一体で行っています！

地域運営学校 八王子市立第五中学校



学校だより

■ 発行 八王子市立第五中学校 八王子市明神町4丁目19-1
■ 代表電話 042-(642)-1633

【教育目標】

- ◎ 人・地球との共生 〈より高い人間性をめざす人〉
- 未来社会への知性 〈学び続ける人〉
- 心身共に健康 〈健康で生命を大切にする人〉

第7号 令和7年11月6日 木曜日



第63回 合唱コンクール

平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること。

(中学校学習指導要領 特別活動 文化的行事より)

第3学年 学年合唱



合唱コンクールのスローガンは「歌の呼吸 伍の型 皆盛絆励(みなもぎり)」です。実行委員会が中心となり考えたスローガンです。皆で盛り上がり、絆を深め、励まし合うという意味が込められています。今回からは第一小学校、第四小学校の6年生の児童も舞台上で合唱を披露してくれました。第五中学校グループの児童・生徒が皆で盛り上がり、絆を深め、励まし合う、スローガンに込められた思いを実現できた合唱コンクールだったのではないかと思います。

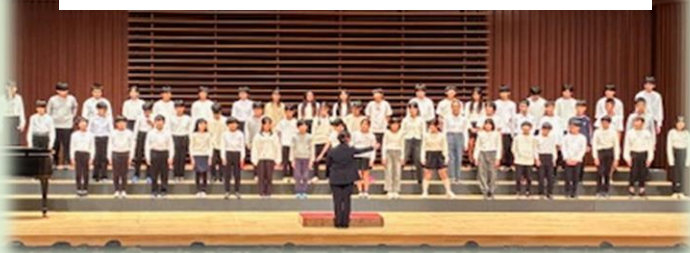
第2学年 学年合唱



第1学年 学年合唱



第四小学校 6年生の合唱



第一小学校 6年生の合唱



第五中学校グループ校の第一小学校、第四小学校の6年生児童も舞台上に上がり、合唱を披露してくれました。素敵な合唱、ありがとうございました。

□ 校長講話 「一輪の花に込められた思い」

11月に入り、寒さが一段と増してきています。最近のニュースでは、今年の流行語大賞にノミネートされた言葉に「二季」という言葉がありました。日本は春夏秋冬という4つの季節があることから、「四季」という言葉があります。近年は地球温暖化の影響もあり、季節が2つになっているようなことから、「二季」という言葉が生まれたようです。

さて、寒くなった季節に思い出すことがあります。それは2011年3月11日に発生した東日本大震災の日に、かつての教え子が行った行為です。東日本大震災が発生した日、東京では公共交通機関や公共インフラ（電気・ガスなど）が止まり、帰宅困難者も多くいました。私の教え子は、当日、ウエディングプランナーとして入社後の最後の研修として、都内の所属会社系列の花屋さんで研修に参加していました。揺れが収まり、数時間が経った時、電気は止まったままで、冷蔵庫に保管されていた大量の花が開花を始め、もう処分するしかないなとあきらめていたそうです。そのような時、ふとビルの窓から外を見ると、駅前で大勢の人が下を向き暗い顔や不安な顔をしながら家路を急いでいる姿が見えたそうです。その子は、その姿を見て、なんとかなる、元気を出してもらいたいと思い、仲間や先輩社員と相談し、開花を始めてしまった花を一輪一輪渡して、帰宅困難者の方たちに元気を出してもらおうと考えました。先輩社員は反対するのではないかと不安でしたが、「人の幸せを願うウエディングプランナーなのだから、そのアイディアは大切だ、是非やろう。責任は自分が取る。」と背中を押してくれたそうです。仲間からは、折角だから、研修で学んだ包装の方法で花を包んでみてはどうかとか、会社の包装紙では売名行為と勘違いされるかもしれないから、あえて新聞紙で包んではどうかなど沢山のアイディアが短時間で提案されたそうです。帰宅困難者の方たちに、元気を出してもらいたいという一心で、皆で協力し合い、駅前で「お花をどうぞ！元気を出してください、きっと大丈夫です！頑張りましょう！」と声をかけ、心を込めて一輪の花を配ったそうです。事後、先輩社員から花を配布した件について叱責や処分を受ける覚悟で会社の社長に報告と説明、そして謝罪をしたところ、「謝る必要はない。本当によくやってくれた。ありがとう。花をもらった人たちはきつとうれしかったと思うよ。」という言葉がかけられたそうです。

大震災直後、困難な状況や先行きが見通せない時に、「人間として本当に大切にしたい価値」から行動できたその会社の方たちから私自身、多くのことを学びました。どうでしょうか、こんなウエディングプランナーがいる結婚式場で結婚식을挙げたいと思いませんか。そして、そう思うのはどうしてでしょうか。考えてみてほしいと思います。

最近のニュースでは、「モノ、お金」に執着する事件などが多くあり、快・不快の感情からすれば明らかに不快なニュースが散見されます。人間として本当に大切にしたい価値は「モノ、お金」ではないのではと思います。今回紹介した「一輪の花に込められた思い」のように、「良心」こそ大切にしたいと思っています。

そういった価値は、実は学校生活や家庭生活、社会生活の中でも沢山あります。例えば、教室で先生がプリントを配っていると、一枚足りない時など、前に座っている生徒が自分のプリントをもっていない生徒に差し出して自分を取りに来るような場面があります。こうした行為ができるのは、心の中で、大切にしたい価値が身に付いているので、行為として現れるものだと思います。言葉や行動はその人間の心の現れであると思います。人生の中で、そういったことに気付くこと、感性を培うことも人生を豊かにする一助になるのではないのでしょうか。

教育活動等について

○ 後期 生徒総会

令和7年10月16日(木) に後期生徒総会が開催されました。参加者総数の確認、議長団選出、生徒会、各委員会からの活動方針の説明、質疑、採決など民主的なプロセスを経て、後期の活動方針等が決定されました。



生徒会・各委員会から活動方針の説明



活動方針等への質疑

○ 笑顔と学びのプロジェクト

令和7年10月26日(木)に東京都教育委員会が主催する、「笑顔と学びのプロジェクト」が本校で開催されました。令和7年度から本校は、八王子市教育委員会の指定を受けて、同プロジェクトの拠点校として八王子芸妓衆を講師に、八王子市の伝統文化を学んでいます。今回は、生徒が司会等を務め、生徒主体で会が進行されました。



八王子芸妓衆の解説を通して学ぶ



太鼓や鼓の実演

○ 小学校運動会のお手伝い

令和7年10月18日(土) に第五中学校グループの第一小学校、第四小学校の運動会が開催され、昨年から取り組んでいる中学生が、運動会にお手伝いをさせていただいています。八王子市が進める小中一貫教育として、合同一体となった活動です。写真は第一小学校、第四小学校の活動の様子です。



第一小学校で活動



第四小学校で活動

○ 第2学年 職場体験の取組

令和7年10月22日(水)に火災を想定した避難訓練を実施しました。当日は、雨天のため、校庭には避難せず、体育館にて点呼、講話を行いました。今回の訓練では3名の生徒が行方不明という想定で、行方不明の生徒を教職員が搜索する設定で行いました。



防災頭巾をかぶり、体育館に避難



副校長からの防災講話

○ 八王子市中学校駅伝大会

令和7年11月2日(日)に八王子市中学校駅伝大会が上柚木陸上競技場で行われ、本校も出場しました。結果は入賞にはとどきませんでしたが、最後まであきらめない力走でゴールしました。



合図とともに一斉にスタート



閉会式後の記念撮影

○ 夜間学級の授業

夜間学級の授業風景を紹介します。本校の夜間学級は、都内で唯一の学年制です。写真にある通り、9教科の授業だけでなくセーフティ教室や夜間学級生徒会主催のたてわり給食など、通常学級と同じように教育活動が行われています。夜間学級の生徒も一生懸命に勉強しています。



生徒会企画のたてわり給食

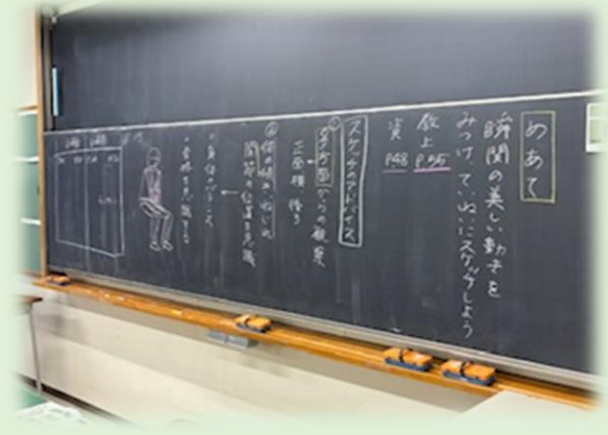


夜間学級セーフティ教室開催
講師は八王子警察署の方です。

特集 授業改善

○ 美術科 一人一台の学習用端末の効果的な活用

美術科の授業では、学習のめあてとして「瞬間の美しい動きを見付けて丁寧にスケッチする」学習の中で、一人一台の学習用端末で美しいと思う動きを仲間と撮影し、その動き方を動画で確認しながらスケッチに取り組んでいます。板書にもめあてや学習の流れが整理されています。



○ 英語科 生成AIの活用、小集団による学び合い

英語科の授業改善です。一人一台の学習用端末と生成AIを活用した授業が実践されています。また、少人数指導でも、小集団(4人または3人)の学習班で2学期から協働して学ぶ環境に取り組んでいます。分からないこと、課題としていることを協働して解決していきます。



○ 数学科 小集団による学び合い、自由進度学習

数学科では少人数習熟度別授業を展開していますが、2学期からは小集団(4人または3人)で学び合いを行っています。これまでの教師が一方的に授業を行う方式から、基本的な学習内容については教師が説明し、課題は小集団で教えあったり、話し合ったりすることを通して学びを深めています。



○ 理科 小集団による学び合い

理科においても小集団(4人または3人)で、教師から説明や提示された課題について協働して考え、学習のめあてを達成し、学びを深める学習活動を取り入れています。写真は、これまで行ってきた机間指導から、教師が各グループを回りながら、学びに向かう助言を行っています。生徒は助言を活かして、さらに考え、学びを深めたり広げたりしています。



○ 技術・家庭科(技術分野) プログラミング

技術・家庭科(技術分野)では、論理的思考を育成するとともにsociety5.0(サイバー空間とフィジカル空間を融合させた超スマート社会)に向けた先進技術を活用するための基礎的・基本的な学習内容を教材を活用して学んでいます。現在、次期学習指導要領の改訂に向けた論点整理の素案が文部科学省から示されました。中学校は技術・家庭科を2つに分離し、情報分野は「情報・技術科(仮称)」で扱うことになるようです。本校では、一人一台の学習用端末と教材を組み合わせるプログラミングを学んでいます。



ホームページがスマートフォンで見やすくなっています。

学校だよりは令和7年度からデジタル配信となりました。
学校ホームページからも見られますので御活用ください。

<https://hachioji-school.ed.jp/dai5j/>

※ 携帯電話・スマートフォンからは二次元コードからの閲覧が便利です。



学校ホームページの
二次元コード